

地域共生社会を推進するための

アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には日頃から福祉行政にご支援・ご協力いただき、ありがとうございます。

福生市では、市の福祉分野の上位計画である「福生市地域福祉計画」を策定します。

このアンケート調査は、無作為に選んだ18歳以上の市民3,000人を対象に実施し、皆様の地域福祉に対する考え方、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画策定に反映することを目的としています。

また、このアンケート調査に際しましては、プライバシーの保護に万全を期しておりますのでご安心いただき、趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年●月

福生市

【回答期限】 令和6年●月●日（●）

【回答方法】 調査票（郵送）、インターネット（いずれか一つの方法でご回答ください）

調査票による回答	インターネット回答
<p>○この調査票には、お名前・ご住所を記入しないでください。</p> <p>○ご記入は、ご本人にお願いいたします。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人のお考えをお聞きのうえ、またはご意向を汲み取ったうえで、代理でご記入をお願いいたします。</p> <p>○お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。</p> <p>○回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封緘し、切手を貼らずに回答期限までにポストに投函してください。</p>	<p>○二次元コードもしくは以下のURLから、専用ウェブサイトアクセスしてください。</p> <p>https://questant.jp/q/*****</p> <p>https://questant.jp/q/*****</p> <p>【二次元コード】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; background-color: #cccccc;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; background-color: #cccccc; text-align: center; vertical-align: middle;">やさ日</div></div> <p>○調査票と同じ質問が画面に表示されます。</p> <p>○最後の送信ボタンを押した後は、回答内容を修正することができませんので、ご注意ください。</p>

○回答にあたりご不明な点・不自由な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

福生市福祉保健部 社会福祉課

TEL

FAX

「地域福祉計画」は「地域共生社会」を実現するための計画です。

■地域共生社会って？

「支援する人」「支援される人」という関係を超えて、地域のいろんな人や団体が役割を持ち、協力しながら、すべての人の暮らしと生きがいとともに創っていく社会のことです。

地域共生社会のイメージ



■地域共生社会を目指して、「地域福祉」を進めています

子どもの登下校が不安…、災害時の対応が心配…、外出したくても交通手段がない…など、ふだんの生活の中で、ちょっとした不安や不便を感じたことはありませんか？

地域福祉とは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、このような不安や不便に対して、近所の人や団体などが協力して取り組むことを言います。

近所の人にあいさつをしたり、高齢の人に手を貸したりすることも、大切な地域福祉の活動なのです。このような活動に一人ひとりが取り組める環境やきっかけをつくること、地域共生社会の実現につながります。

1. 地域での活動について

問1 あなたは、福生市に愛着がありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 大いにある | 4. あまりない |
| 2. ある程度ある | 5. 全くない |
| 3. どちらともいえない | |

問2 あなたは、地域活動やボランティア活動に取り組んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 現在、継続的に取り組んでいる | 4. やりたい気持ちはあるが、 |
| 2. たまに、取り組むことがある | 取り組んだことはない |
| 3. 取り組んだことはあるが、
現在はほとんどしていない | 5. 取り組んだことはない |

⇒問 2-1 へ

⇒問 2-2 へ

問2-1 問2で「1」「2」「3」(取り組んだことがある)を選んだ方

どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 高齢者の援助 | 6. 青少年の健全育成に関する活動 |
| 2. 障がいのある人の援助 | 7. スポーツ・文化に関する活動 |
| 3. 子育ての支援や子どもの世話 | 8. 清掃・美化に関する活動 |
| 4. 自然や環境保護に関する活動 | 9. 防災・交通安全・防犯に関する活動 |
| 5. 国際交流に関する活動 | 10. その他 () |

問2-2 問2で「4」「5」(参加したことがない)を選んだ方

参加したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 仕事や家事で忙しい | 5. 家族の協力・理解が得られない |
| 2. 体が弱い、病気がちである | 6. 付き合いがむずかしそう |
| 3. 一緒に参加する人がいない | 7. 興味や関心がない |
| 4. 活動の内容や参加の方法がわからない | 8. その他 () |

問3 地域活動やボランティア活動に参加しようとする際、どういう点を重視しますか。

(あてはまるもの3つまで○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 活動情報の提供がある | 7. 特技や知識が活かせる |
| 2. 友人等といっしょに参加できる | 8. 身体的な負担が少ない |
| 3. 身近なところで活動できる | 9. 経済的な負担が少ない |
| 4. 活動時間や曜日が自由 | 10. 条件を問わず参加したい |
| 5. 適切な指導者やリーダーがいる | 11. どのような条件でも参加はできない |
| 6. 活動に対する謝礼などがある | 12. その他 () |

問9 福祉のまちづくり*を進めるために、個人ではどのようなことができますか。
(あてはまるものすべてに○)

福祉のまちづくり：ユニバーサルデザインの理念の下、高齢者、障害者、子ども、外国人などを含めたすべての人が安心して生活し、自由な移動や社会参加ができる環境を、ソフト・ハード両面にわたり創り出そうとするものです。

1. だれでもけがをしたり病気になったり、高齢になって体が不自由になる可能性があるので、やさしいまちづくりを自分ごととして考える
2. それぞれ異なる特性を持つ多様な人々が交流する機会を増やし、お互いのことをよく知る
3. 困っている人への手助けができるよう思いやりのところを持ったり、手助けの方法を知る
4. ボランティア体験を通じて、社会の課題を知る
5. 防災訓練など、地域の防災訓練に、障害のある方や要介護の方と一緒に参加する
6. 特にできることはない
7. その他 ()

問10 ご自宅や近所に、次のような見守りなどの支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者のひとり暮らし世帯
2. 認知症と思われる人
3. 生活に困窮していると思われる人
4. 大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷)
5. 高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)
6. 近隣や地域と関わりを持たない人や世帯
7. 高齢の親が同居する中高年の子どもの生活を支え、経済的に困窮している世帯(8050問題)
8. 子育てと親の介護をひとりで同時に抱えている世帯(ダブルケア)
9. 子どもが家族の介護などによって、自分の時間を持たない世帯(ヤングケアラー)
10. 家族の間で虐待が疑われる世帯(虐待)
11. その他、複数の困り事や深刻な課題を抱えていると思われる世帯
12. いない
13. わからない

3. 暮らしの困りごとについて

問11 あなたは今の生活において困っていることはありますか。(○は1つ)

1. ある ⇒問 11-1、2 へ

2. ない ⇒問 12 へ

問11-1 問11で「1」を選んだ方

どんなことに困っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 生活費など経済的問題 | 6. 親以外の家族の介護・介助のこと |
| 2. 仕事に関すること | 7. ひきこもりの家族がいること |
| 3. 自分の健康のこと | 8. 近所の人間関係のこと |
| 4. 育児・子育てに関すること | 9. 特にない |
| 5. 親の介護のこと | 10. その他 () |

問11-2 問11で「1」を選んだ方

お答えのことについて、現在、どこかに相談をしていますか。(○は1つ)

1. している ⇒問 11-3 へ

2. していない ⇒問 11-4 へ

問11-3 問11-2で「1」を選んだ方

現在、どこに(誰と)相談をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 家族・親族 | 6. こども家庭センター |
| 2. 自治会、地域の人 | 7. 地域包括支援センター |
| 3. 民生委員・児童委員 | 8. 基幹相談支援センター |
| 4. 市役所 | 9. 病院 |
| 5. 社会福祉協議会 | 10. その他 () |

問11-4 問11-2で「2」を選んだ方

相談をしていない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 相談するほどの内容ではない | 4. 忙しくて相談できない |
| 2. どこに相談していいかわからない | 5. 特にない |
| 3. 相談しても解決が期待できない | 6. その他 () |

問12 次の地域福祉に関する活動や組織について知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 社会福祉協議会 | 5. 就労と福祉の相談窓口(※) |
| 2. こども家庭センター | 6. 民生委員・児童委員 |
| 3. 地域包括支援センター(※) | 7. 保護司 |
| 4. 基幹相談支援センター(※) | 8. いずれも知らない |

※次ページで解説しています。

地域包括支援センター：高齢者の福祉に関する相談ができる場所です。社会福祉士・主任介護支援専門員・保健師を置き、介護予防マネジメント、総合相談支援事業、包括的・継続的マネジメント、虐待防止等・権利擁護などを実施しています。福生市には加美・武蔵野・熊川の3か所の福生市地域包括支援センターがあります。

基幹相談支援センター：福生市障害福祉課内に設置している、障害のことに関する総合的な相談ができる場所です。また、地域における相談支援事業者等に対する専門的な指導・助言、情報収集・提供、人材育成支援、地域移行に向けた取組等を行っています。

就労と福祉の相談窓口：暮らしや仕事の困りごとについて相談支援を行っています。収入が不安定で生活が苦しい、働きたくても仕事がなかなか見つからない、債務の返済で困っているといった困りごとに対し、専門の相談員が解決に向けた提案や、解決までのお手伝いをします。

4. 福祉情報について

問13 福祉に関する情報はどこから得ていますか（得ようと思いますか）。

（あてはまるものすべてに○）

1. 市の広報紙「広報ふっさ」
2. 「福生市議会だより」などの市の刊行物
3. 市で作成したパンフレット、ポスターなど
4. 市のホームページ
5. 市公式 YouTube チャンネル「福生市メディアラボ」
6. 携帯電話情報提供サービス「ふっさ情報メール」
7. ふっさ情報アプリ「ふくナビ」
8. 福生市 LINE 公式アカウント
9. 町会、自治会の回覧物
10. 新聞、テレビなどのマスメディア
11. その他（ ）
12. 特にない

問14 あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できていると思いますか。

（○は1つ）

1. 十分入手できている
2. 十分ではないが、入手できている
3. ほとんど入手できていない
4. 全く入手できていない
5. 今のところ情報を得る必要がない

6. 再犯防止について

問17 約20年の間、全国の犯罪の件数（刑法犯検挙者数）は減少している一方で、検挙者に占める再犯者（再び検挙された人）の割合が50%弱で高いまま推移しています。

あなたは、このことを知っていましたか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 知っている | 3. 知らない |
| 2.なんとなく知っている | |

問18 犯罪をした人が円滑に社会に復帰でき、犯罪や非行の繰り返しを防ぐ、「再犯防止」に取り組むため、平成28年に「再犯の防止等の推進に関する法律」が成立したことを知っていますか。（○は1つ）

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 知っている |
| 2. 「再犯防止」という言葉は聞いたことがあるが、法律のことは知らない |
| 3. 知らない |

問19 あなたは、再犯防止に協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 保護司	犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間ボランティア。保護観察対象者となった人へ保護観察を行う。法務大臣から委嘱。
2. 更生保護女性会	犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行い、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行少年の改善更生に協力する女性ボランティア。
3. 協力雇用主	犯罪をした人等の自立及び社会復帰に協力することを目的として、犯罪をした人等を雇用し、又は雇用しようとする民間の事業主。
4. BBS会	問題を抱える少年が自分自身で問題を解決したり、健全に成長していくことを支援し、犯罪や非行のない地域社会を目指す青年ボランティア団体。
5. 更生保護施設	矯正施設から釈放された人や保護観察中の人で、身寄りがないことなどの理由で、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設。
6. 教誨師 (きょうかいし)	受刑者や少年院在院者等の改善更生のため、宗教により教誨をする宗教家。
7. 篤志面接委員 (とくしめんせついいん)	専門的な知識・経験を有し、法務省から委嘱を受けた人で、受刑者や少年院在院者等の改善更生のために奉仕活動をする人。
8. いずれも知らない	

問20 あなたは、罪を犯した人が更生して地域で生活する場合に必要な支援は何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 就労支援 | 6. 協力者の活動促進 |
| 2. 住まいの確保支援 | 7. どのような支援が必要かわからない |
| 3. 経済的支援 | 8. 特に必要な支援はない |
| 4. 地域住民の声かけ・かかわり | 9. その他 |
| 5. 非行の防止・就学支援 | () |

8. あなたご自身について

問23 あなたの性別は。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答しない

問24 あなたの年齢は。(○は1つ)

1. 20歳代 4. 50歳代 6. 65～74歳
2. 30歳代 5. 60～64歳 7. 75歳以上
3. 40歳代

問25 あなたのお住まいの地域は。(○は1つ)

1. 熊川エリア …福生熊川住宅、南、内出、武蔵野、福東、南田園一丁目、鍋ヶ谷戸第一、鍋ヶ谷戸第二、玉川台、富士見台、福栄、熊川牛浜、福生団地、南田園二丁目、南田園三丁目
2. 武蔵野エリア …牛浜第二、原ヶ谷戸、本町第七、本町第八第一、本町第八第二、武蔵野台一丁目
3. 加美エリア …牛浜第一、志茂第一、志茂第二、本町第一、本町、本町中央、本町第六、加美平住宅、永田、長沢、加美
4. わからない

問26 あなたの世帯構成は。(○は1つ)

1. ひとり世帯 5. 3世代世帯（親と子と孫）
2. 夫婦のみの世帯 6. その他（ ）
3. 2世代世帯（親と子）※選択肢4を除く
4. 2世代世帯（ひとり親と未成年の子）

問27 あなたは、福生市に合計で何年住んでいますか。(○は1つ)

1. 1年未満 4. 10年以上20年未満
2. 1年以上5年未満 5. 20年以上30年未満
3. 5年以上10年未満 6. 30年以上

問28 あなたの職業は。(○は1つ)

1. 正規社員・職員 6. 会社役員など
2. 自営業主・自営業手伝い 7. 再雇用・シルバー人材センターの就労
3. 嘱託・派遣 8. その他（ ）
4. パート・アルバイト 9. 仕事はしていない（年金生活者・専業主婦
5. 学生 （主夫）を含む）

問29 あなたの住居形態は。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|--------|
| 1. 持ち家 (一戸建) | 4. 借家 (一戸建) | 7. その他 |
| 2. 持ち家 (集合住宅) | 5. 借家 (集合住宅) | () |
| 3. 公営の賃貸住宅 | 6. 社宅・寮など | |

問30 あなたの経済的な暮らし向きは、いかがですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|----------|--------|
| 1. ゆとりがある | 3. 普通 | 5. 苦しい |
| 2. ややゆとりがある | 4. やや苦しい | |

問31 あなた自身や同居している家族の中に、次のような人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 乳児 (1歳未満) | 6. 75歳以上の人 |
| 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 | 7. 介護を必要とする人 |
| 3. 小学生 | 8. 障がいのある人 |
| 4. 中学生・高校生 | 9. いずれもない |
| 5. 65歳～74歳の人 | |

最後に、助け合い・支え合える地域をつくるためのアイデアや、福祉に関することなど、ご意見があればご自由にご記入ください。(自由記述)

ご記入いただいた調査票は、●月●日 (●) までに、

切手を貼らずに同封の封筒に入れて投函してください。

ご協力ありがとうございました。